

「ペロブスカイト構造物質」

～ 無機、有機のペロブスカイト構造物質：その基礎から最近の展開まで～

2014/01/29 (水)

京都大学・化学研究所・総合研究実験棟 CB215/217

最近、有機分子を含んだペロブスカイト構造材料が太陽電池材料として大きな注目を集めています。一方、無機のペロブスカイト構造酸化物は、古くから誘電体や磁性体、電池材料などに広く用いられ、機能性材料として幅広く研究開発されています。

そこで、今回、非常にシンプルに「ペロブスカイト構造物質」だけをキーワードに、無機合成、有機合成の両面から取り組んでいる研究の基礎と最近の進展を紹介し、ざっくばらんに意見交換をする場を設定しました。また、放射光実験施設 (SPring-8) から、これまでの無機ペロブスカイト構造酸化物の構造・電子状態評価の研究例も紹介してもらいます。

有機、無機の合成、評価と多くの分野の研究者の自由な意見交換の場にしたいと考えておりますので、皆さまの積極的なご参加を歓迎します。

13:00-13:05 はじめに (島川 祐一)

13:05-13:45 島川 祐一 (無機先端機能化学)

「ペロブスカイト構造酸化物の基礎と物質開発」

13:45-14:30 水牧 仁一朗 (SPring-8)

「X線分光で観たペロブスカイト酸化物」

14:30-15:15 若宮 淳志 (構造有機化学)

「ペロブスカイト型太陽電池の研究最前線～新規材料に求められる物性～」

15:15-16:00

フリーディスカッション

担当：市川 能也 (無機先端機能化学)

TEL: 0774-38-3117

E-mail: nori@scl.kyoto-u.ac.jp

